

## ぶらり近江八幡まちなかガイド実施

### ～ 充実のガイド ～

東森 俊之

天候はそこそこであって、日牟礼八幡宮境内あたりには結構観光客は散策されていました。でもガイド依頼はありません。ガイド受付時間終了ギリギリに漸く一人のお客様が来られ、リーダーの岩戸さんが案内にでられました。その時丁度10時受付終了時間となりますが、少し様子を見てみると1組のご夫婦が近くに居ましたので声掛けしましたら、「おねがいします」と快く返事が帰って来て、時間も「そう急ぎません。昼ご飯も案内終了後に近くでと思っています。」と言われましたので標準コースに則り案内。為心町絵馬額に辿り着き、由来と「岡田屋惣右衛門」石碑の説明、直ぐに旧朝鮮人街道（京街道）を西に進み安土問答で近江商人の願い寺と言われる「正福寺」の説明、新町通りの見所、新町浜で八幡山を望み「豊臣秀次」による435年前に八幡山城・街造りの思いを話して、ヴォーリス像・西川甚五郎邸・八幡堀遊歩道を散策し・日牟礼八幡宮に着きました。お昼の12時はとっくに過ぎていました。別れる際に奥さんが言われました「何度か近江八幡に来ていますが、ガイドをお願いしていません。今回はガイドさんの説明でいろいろな再発見できました。」と、喜んで頂いて、私は充実した時間・ガイドをして良かった！との思いと感謝の気持ちで一杯でした。



### 受付～新町通りご案内

## ガイド養成講座新入会員の抱負

### ～ 郷里の為に役立ちたい ～

桐原 正昭

私は、近江八幡市街地東部の浅小井という農村地帯に生まれ育ちました。母の親元が八幡神社の近くの江南町であったことから、子供の頃から毎年母に連れられ、左義長祭や太鼓祭りにを見に行っていました。青年になって左義長をかついだこともあり、日牟礼八幡宮や八幡堀に慣れ親しんできたものです。又、買い物や、映画、図書館（旧伴家住宅）利用等で仲屋町・為心町・新町通り・京街道へもいつも行って行きましたので、昔懐かしい思い出が今も鮮明に残っています。

信長・秀吉時代の歴史が好きなことから、以前から秀次公にも関心がありました。

以上のようなことから、満78歳を迎え、健康で自由時間も取れるようになったことから、おこがましいですが、少しでも郷里の為に役立てばと応募させて頂きました。

### ～研鑽出来ますことを感謝～

坂倉 直人

歴史小説に熱中した時期が有り、滋賀県も東海道・中山道・北国街道他印象に残って居ります。

昭和62年に北関東より転勤して近江八幡に住む事と為り、仕事の関係で草津市・栗東市・愛知郡・彦根市・長浜市・浅井郡・甲賀市・伊賀阿山・大阪関連等車で走り回って別の興味を持って居りました。雑学的な知識で今回研修会に参加して深掘りした実態を体験し説明する事の困難さを感じさせて戴きました。

滋賀県の特殊な地域性古来より様々な情報を武器にした伴家は甲賀武士から商人に転嫁した元は甲賀忍者の元締め家系？また、信長の安土城楽市楽座は五個荘の意気を使い、滋賀の本領発揮ではないかと感じて居ります。皆様と研鑽出来ます事を感謝しております。

